

布佐中学校区「適正規模と学校のあり方について」

説明会 資料②

我孫子市教育委員会・学校教育課

○学校の適正規模について

○布佐中学校区「学校の適正規模に係る
アンケート」について

○今後の予定について

学校の適正規模について

本市では児童・生徒数の減少や学校規模の不均衡の現状を鑑み、適正規模の検討を始める基準を設定しました。その際には、次の三つの視点を重視しました。

- 子ども達の教育環境を最優先に考える
 - 学校と地域との連携を考える
 - 将来の児童生徒推計を考える

我孫子市における学校の適正規模

○小学校では、各学年2学級以上
全体では12学級以上24学級以下
(各学年2～4学級)

○中学校では、各学年3学級以上
全体では9学級以上24学級以下
(各学年3～8学級)

学校の適正規模についての検討手順

○適正規模を下回ることが予想される場合

→ 検討準備段階

○複数学年で適正規模を下回ることが予想される

→ 検討段階

○**全学年で単学級**が予想される場合

→ 速やかに検討

布佐中学校区における学校施設のあり方の検討

○布佐小学校と布佐南小学校が

1～6年生のすべてで単学級(令和元年度から)

○布佐中学校が全学年で2学級(平成30年度から)



○速やかに検討

令和2年度から保護者や地域住民の方
を含め、広く意見を募る。

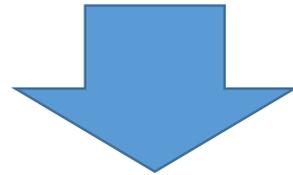
児童生徒数の予想

学校名	平成27 (2015)	平成31 令和元 (2019)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)
布佐小学校	251	199	191	182	167	159	159
布佐南小学校	162	169	170	161	153	156	147
布佐中学校	262	210	169	174	181	166	149
合計	675	578	530	517	501	481	455

我孫子市の学校の一大特色「小中一貫教育」

○小中一貫教育(H31～、布佐中区はH26～)

施設分離型(小と中が離れている)



施設一体型も含めて広く検討

布佐中学校区における学校施設のあり方について 広く意見を募る

○説明会で保護者や地域の方から意見を聞く予定



○新型コロナウイルス感染症のまん延



○説明会を実施できない



○アンケートの先行実施

保護者や地域住民、学校関係者対象

布佐中学校区 「学校の適正規模に係るアンケート」について

1 アンケート実施の目的

- 「施設一体型の小中一貫校」の設置についての意識を調査し、今後の布佐地区の学校の在り方について検討するための資料とする。

2 実施期間 令和2年12月7日～令和3年1月15日

3 調査対象者

カテゴリー	内訳	1 布佐小	2 布佐南小	3 布佐中	計	
A	保護者（世帯）	152	139	165	456	
B	地域（世帯）	233	268	/	501	549
	新入生保護者				30	
C	学校関係者（人）	15	22	25	62	
D	学校職員（人）	31	28	32	91	
	合計→	461	475	222	1158	

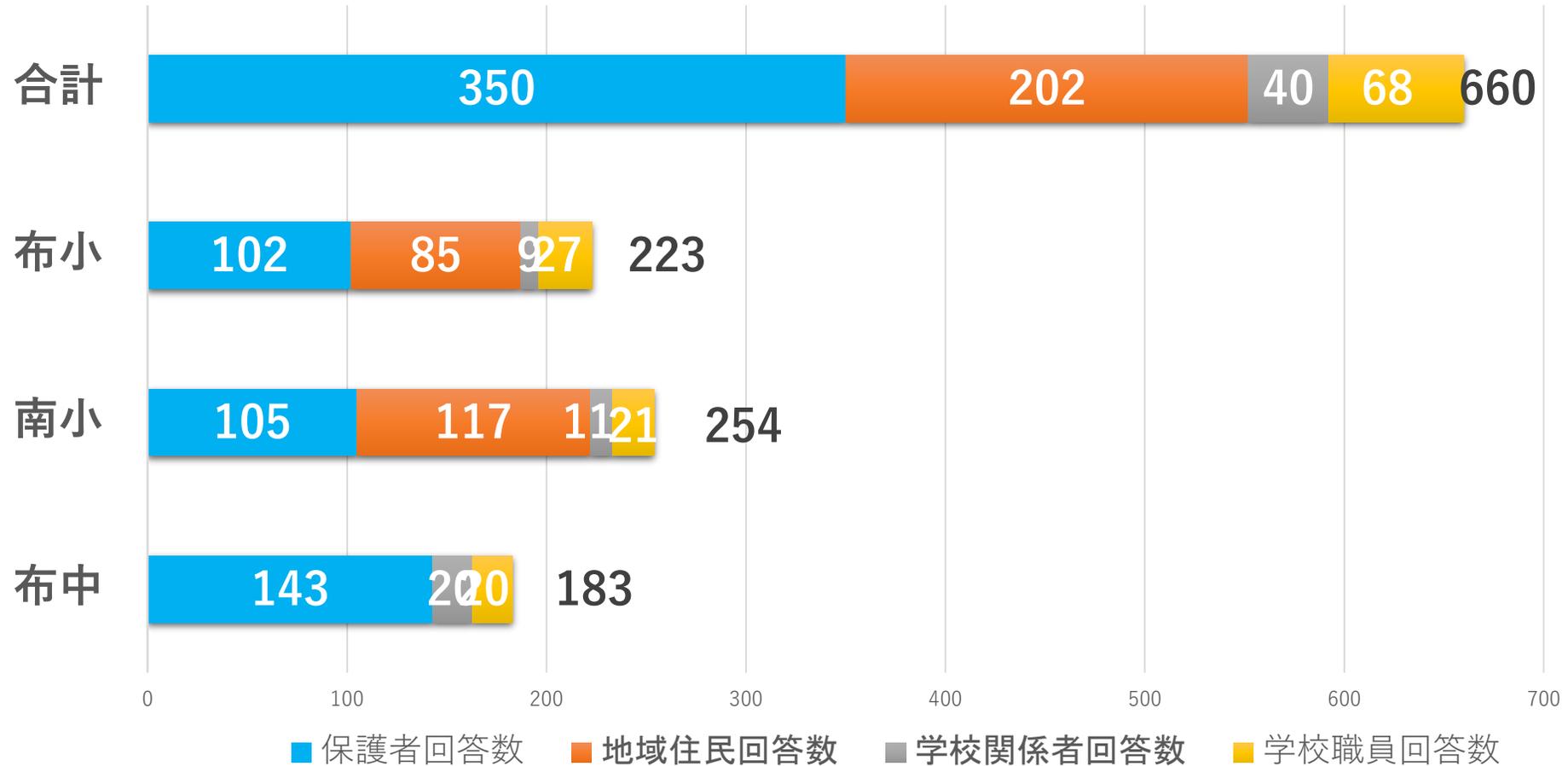
4 回答者数・回収率

	対象者数	回答者数	回収率
A 保護者（世帯）	456	350	76.8%
B 地域（世帯）	549	202	36.8%
C 学校関係者（人）	62	40	64.5%
D 学校職員（人）	91	68	74.7%
合計	1158	660	57.0%

5 アンケート結果

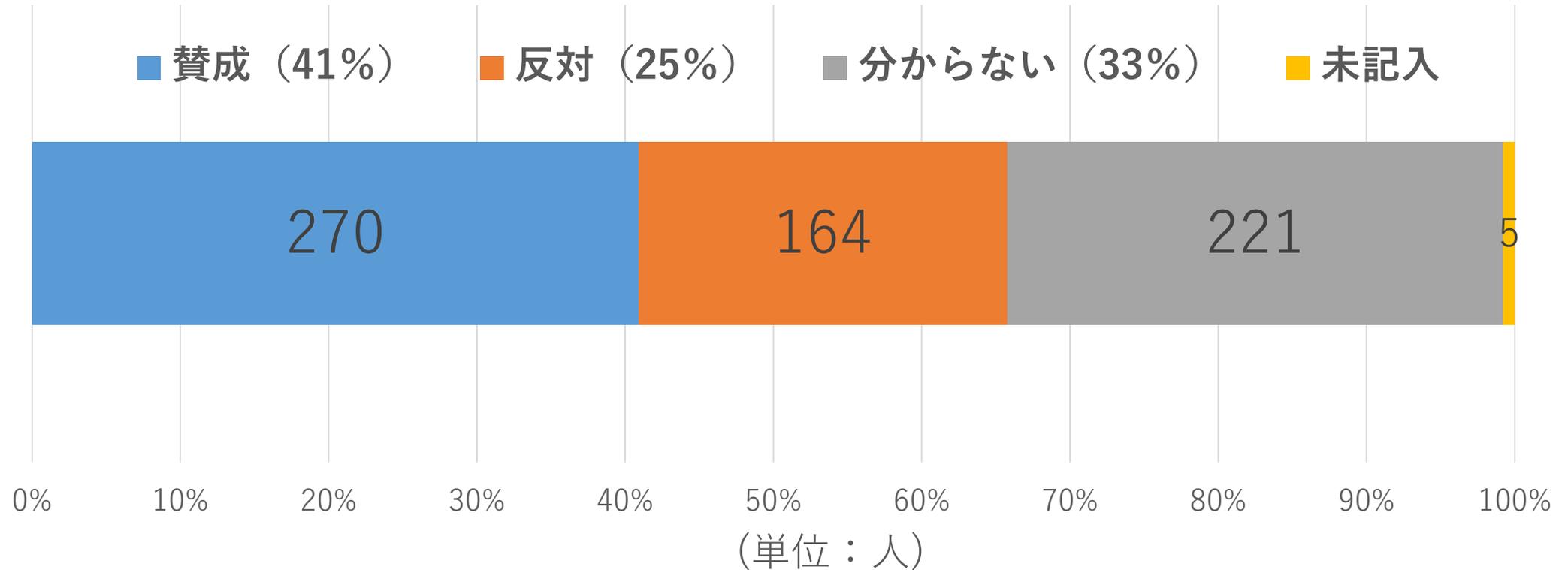
(1) 各校別の回答者数とその合計

単位：人



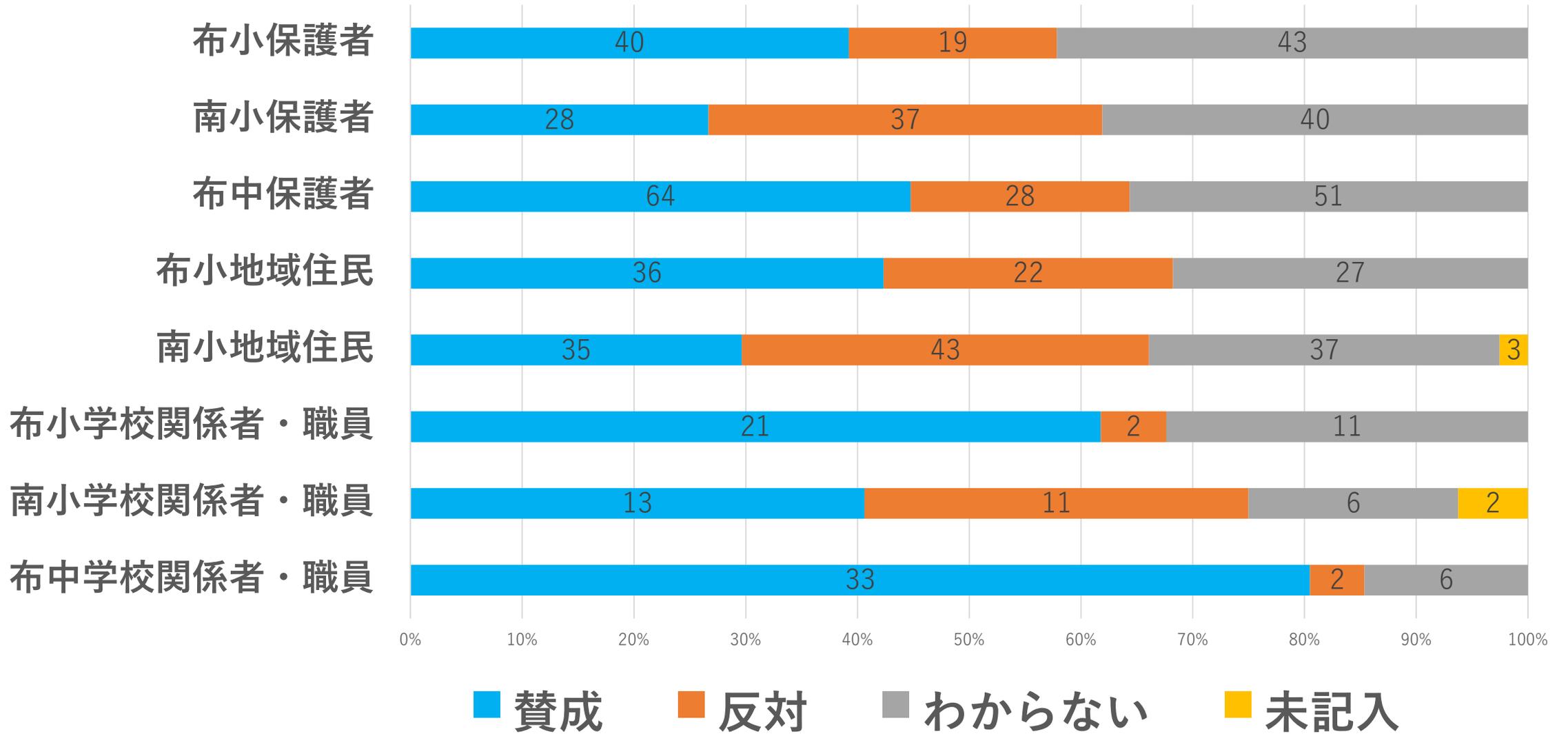
(2) アンケートの回答

Q 2 施設一体型の小中一貫校の設置に対する考えで最も近いもの (1つ)

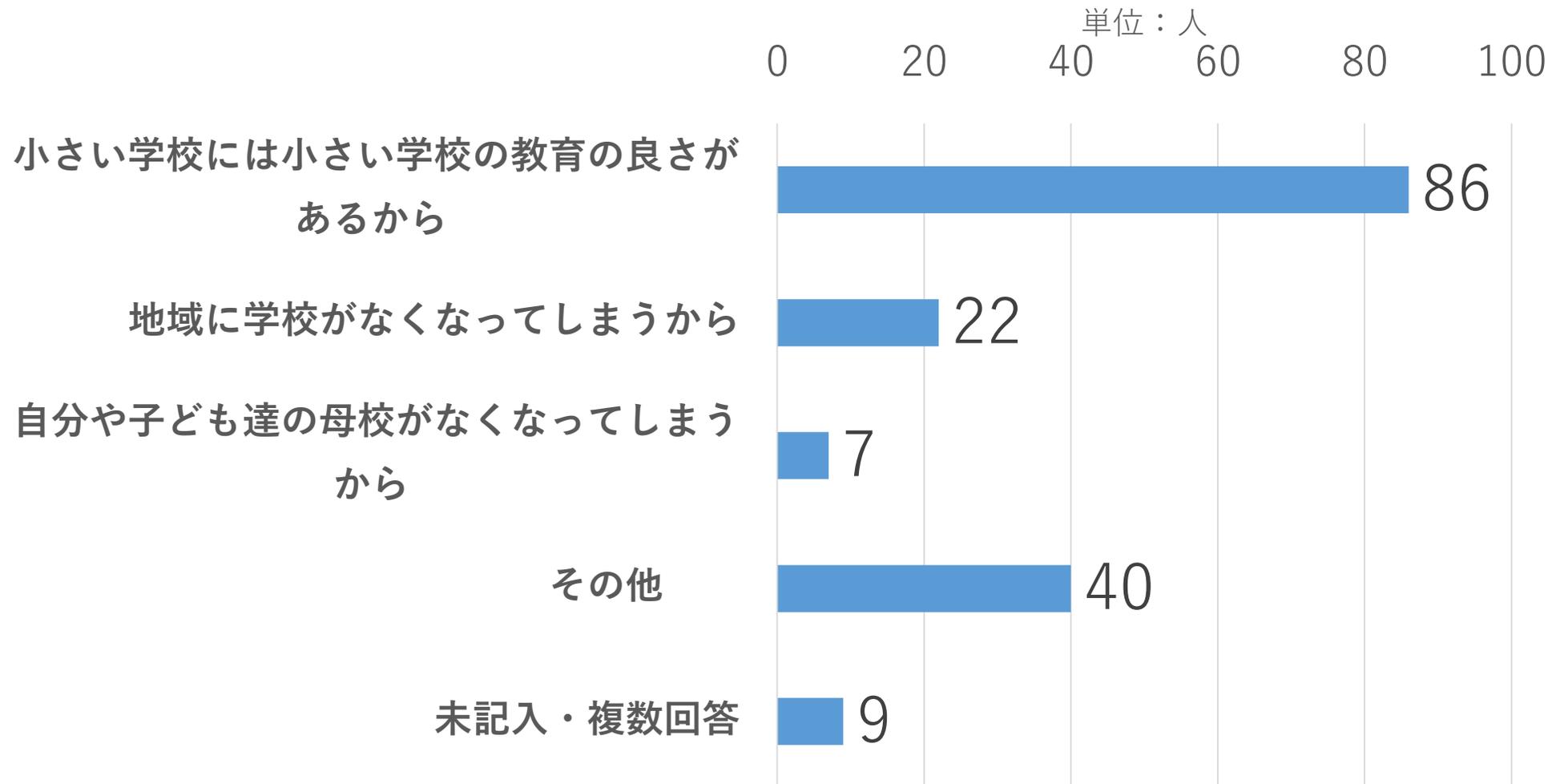


Q 2 - ③ カテゴリー・学校別

単位：人



Q 3 一体型の小中一貫校の設置に反対する最大の理由（1つ）



※Q3 「その他」の記述抜粋

- ①デメリットでもあったように、小学生の最高学年としての活躍の場がなくなる。小学校と中学校では、子供の質も違うので（性の問題など）分けた方が良い。
- ②小→中の環境変化も大人になっていく上での大切な経験だと思う。
- ③(布佐小は)通学路に歩道がないため、安全上の心配がある。学校へつながる道路が狭い。校舎が古く設備の老朽化が心配。
- ④人間関係に変化がなく、新鮮味がなくなるので、例えば、嫌な人とずっと一緒にいなければならないことが今までの形態よりもきついのでは？と心配になる。
- ⑤(一体型を始めたら)失敗が許されないこと、予算の問題。

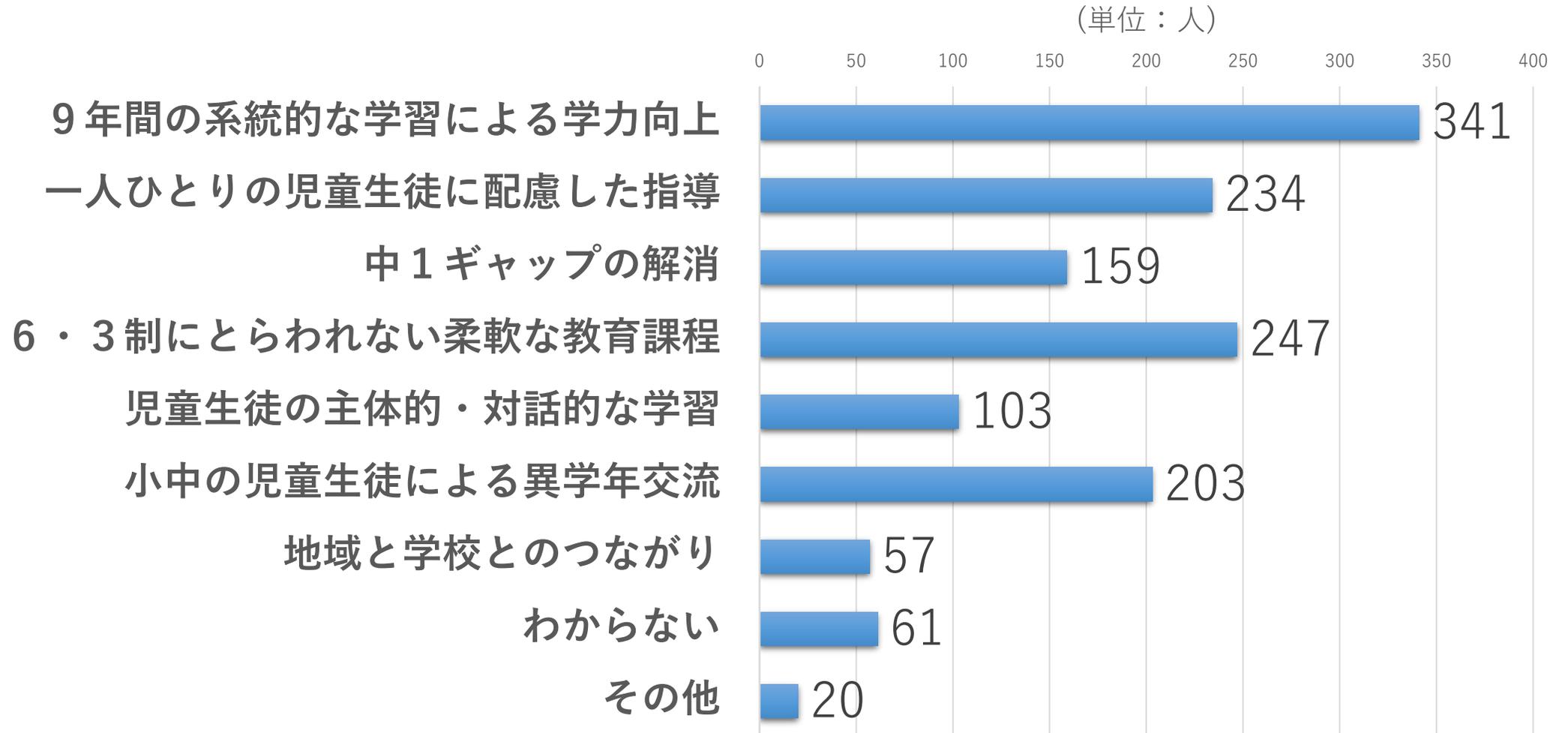
Q 4 一体型の小中一貫校が設置された場合に心配な点（3つ以内）



※Q4 「その他」の記述抜粋

- ①いじめが小学校であった場合、最大9年間同じ環境、同じ集団でいることへの配慮と対策。
- ②中学生の小学生に対するいじめが心配。反抗期や精神面の問題がある中学生は小学生をいじめる可能性がある。先生たちや大人の目がちゃんと届くかどうか心配。
- ③人間関係が固定化され、リセットできる機会がない。
- ④平和台に増々子供がいなくなる。
- ⑤南新木地区のほとんどが新木小への学区変更を希望するのではないのでしょうか。
- ⑥**一体型の説明がないのでわかりません。**

Q 5 一体型の小中一貫校に期待することは何か（3つ以内）



※Q5 「その他」の記述抜粋

- ①小中一貫モデル校としての学力向上への取組強化
(人材・カリキュラム・施設設備等)
- ②特色のある教育、安心安全な通学。
- ③部活動（特に運動能力）の向上。
- ④小学校合併による生徒数の増加。
- ⑤友達が増える。
- ⑥小中学校間の情報共有。
- ⑦一体型の説明がないのでわからない。

- ①固定概念にとらわれず、時代にあった取り組みを先駆的に行う学校をつくってほしい。
- ②小さい子と関わることで、学校で「思いやる心」などが育つような経験ができれば、大人になって、親になって、虐待などの悲しいニュースも聞かれなくなるのではと思います。
- ③1学年が2クラスになることでクラス替えがあり、人間関係がリセットされたり、交友関係が広がったり、クラスの団結も深まったりなどするなら良いと思います。

④小中一貫校になることにより、1学級しかない寂しさを改善することができる。、ぜひつくって、にぎやかな学校になってほしいと思っています。

⑤児童数が少なくなります。早く一体型にしてください。

⑥市内での先駆けとなるため、子どものために、ぜひ特色のある学校、充実した設備を整えてスタートしてください。

⑦一貫校の設置には良い点、悪い点があると思いますが、少子化が進む以上、やむを得ず必要なことだと思っています。

通学の面で不便がないよう、特に小学生は学校側での送迎が必要になるのか、検討が必要かと思いました。

- ①布佐小学校の場所とありますが、新しく校舎を建てるのですか。布佐小は校舎や体育館でかなり高低差があり、校庭が狭いのが気になります。その点では布佐南小の方が良いのでは。通学路も整備されて安全。
- ②南小学区は通学距離が遠くなる為、通学方法が心配。バスの利用を可能にするなど通学手段を考えないと南新木の子供達がかわいそう。また、南小が無くなることで地域（平和台）の衰退につながっていくのではないかと不安。
- ③小規模校で卒業した上の子達も「少人数でも良かった」とたいへん満足しています。一人ひとり丁寧に見てもらえるので、このままで良いと思います。

④話し合いや説明もないままに、アンケートに答えてほしいと言われても、どう考えて良いのか分からない。漠然と反対の気持ちがあるだけです。

⑤平和台地区から小学校がなくなることに関しては地域の活力を減退させることを危惧します。そもそも小中一貫（統廃合）に至る背景は何でしょう？ 予算でしょうか？ 予算ありきで教育の在り方が問われる場合、小中一貫校の構想には反対です。

⑥とにかく場所が好きではありません。そちら(布佐小)に小学校を移した場合、南新木の子供は新木小に行くでしょう。

子供を何らかの理由で車で迎えに行く時、あの場所(布佐小)は不便だと思えます。もう少し道を便利に広げてくれれば。暗い場所もあるし…。

- ①賛成、反対、どちらにしても問題は残ります。子供達が取り残されないことを望みます。
- ②学力とは、どのような環境においてもそこから学び取り、糧にする力だと思っている。子供自身が主体性を持って学ぶ意欲が発揮される環境を創造してほしい。
- ③先に小中一貫校になった学校がどうなっているのか。成功例を知りたい。
- ④施設一体型はいつ頃を目指していますか。現状を伝えて欲しい。

- ⑤行政側のスケールメリット（省コスト化）だけではなく、施設一体型のモデル校としての教員の人員や人材の確保、カリキュラムの強化による学力の向上と一人ひとりの子どもに配慮した指導等、子どもへのメリットのある統合を強く望みます。
- ⑥校庭の広さや小学校の築年数や設備などを踏まえて、今の規模のまま布佐小学校に全ての生徒を移すことについて、どのように想定しているのか。また、設備等新設するのであれば、それにかかるコストについての説明とそのコストに見合った教育面でのメリットがあるのか説明してほしい。
- ⑦布佐中学校は布佐小学校に比べ、特に体育館や校庭の広さ等、小学校より新しいが、使用されなくなった場合どのように活用されていくのか。

千葉県内の施設一体型の小中学校

()内は特別支援学級

○義務教育学校

市川市立塩浜学園	児童生徒数	415人	15学級
成田市立下総みどり学園	児童生徒数	373人	17学級(4)
成田市立大栄みらい学園	児童生徒数	610人	22学級(5)

○施設一体型併設小学校中学校

浦安市立明海中学校	生徒数	289人	9学級(2)
明海南小学校	児童数	267人	11学級(1)
鴨川市立長狭中学校	生徒数	76人	3学級(2)
長狭小学校	児童数	119人	6学級(2)

今後の予定

○11～12月に、地域住民対象の説明会
を開催(布佐小学校区、布佐南小学校区)

○来年度(R 4)に「検討委員会(仮名)」
を発足

委員：保護者代表、地域住民代表、
校長等学校代表 (詳細は未定)